

インターネット取引に関する法務研修



◆ 研修の概要

- 【内 容】 インターネット取引に関する法務上の留意点、プライバシーの問題、民事法、知的財産権法等サイバースペースを利用した電子商取引に関連する法知識を弁護士がわかりやすく説明します。
- 【到達目標】 電子商取引に関連する法知識を幅広く習得できます。
- 【対象者】 法務担当(リーガルマネージャ、およびスタッフ)など
最適人数：20～30名
- 【コース日程】 2日間(座学)
- 【金額】 **講師費用、テキスト費用等**
ご予算に応じてカスタマイズ可能です。ご相談ください。

◆ 候補講師

弁護士 堀口 昌孝
1970年生まれ。現在 弁護士(東京弁護士会所属)。掲示板への書き込みによる名誉毀損、契約不履行関連事件や不動産賃貸借トラブル事件なども得意とする。

弁護士 川畑 大輔
1972年 愛知県に生まれ。1998年 早稲田大学法学部卒業。現在 弁護士(東京弁護士会所属)。

◆ カリキュラム例

担当	項目	詳細
堀口	電子商取引「法」の特徴	・法律について ・商取引とは ・電子商取引とは
	サイバー民事法	・民事法とは ・なりすまし ・錯誤
	サイバー契約法	・サイバー取引 ・契約の特質 ・法的紛争について
	サイバースペース法の必要性	・電子商取引法とサイバースペース法との関係
	サイバー知的財産権法	・知的財産権総論 ・著作権 ・特許権、実用新案権、意匠権
川畑	サイバー上の不法行為及び対応	・はじめに ・サイバー不法行為の定義と類型
	不正アクセス行為	・定義と典型例 ・最近の具体例と不正アクセスの発生状況
	コンピュータウイルス	・定義と典型例、最近の具体例
	スパムメール(迷惑メール)	・問題の所在と最近の具体例
	名誉毀損・著作権侵害に対する対応	・名誉毀損行為とは ・プロバイダー責任制限法
	サイバープライバシー	・問題の所在 ・プライバシー3要件 ・個人情報保護法について

◆ 実績

- 2008年6月 大手情報通信企業様
インターネット取引に関する法務研修
- 2007年11月 大手情報通信企業様
インターネット取引に関する法務研修
- 2007年8月 大手情報通信企業様
インターネット取引に関する法務研修
- 2007年6月 大手情報通信企業様
インターネット取引に関する法務研修

◆ 受講者の声

「講師が弁護士だったのでより専門的、かつ具体的事例が盛り込まれており非常に参考になった」
「実際の事例で説明していただいたので分かり易かった」